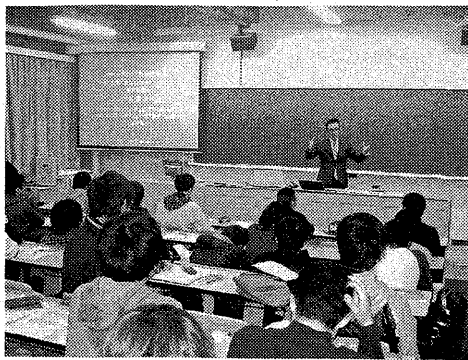


中部

愛工大で建設業の魅力伝える講座



建設業の魅力を伝える講座

中部建設青年会議の新年場がどのようなものか理解する貴重な場で、参加した学生も興味深く聴講していた。

は1日、愛知工業大学八草キャンパスで、建設業の魅力とやりがいを伝える講座を開いた。工学部都市環境学科の3年生約90人が参加。公共事業や建設業の重要性、建設業の魅力などに関する講座、情報化（ICT）施工の説明と実習などを行った。実際の建設業や現場の事業や緊急災害対策派

中部建設青年會議

工学部3年生90人が参加

遺隊（ニックフォース）の梁の設計やダム現場の仕事、インフラの老朽化対策など課題と対応策を分かりやすく説明し「東日本大震災で真つ先に現場に駆けつけたのが地域の建設業。地域の安心・安全を守るために不可欠な産業だ」と訴えた。

建設経営者倶楽部理事長でハタコンサルタント社長の降旗達生氏は「建設業の魅力とやりがい」をテーマに講演。20代の若手からベテランまで、現場でのバーベキュー大会などゼネコン時代の自身の経験を基に建設現場の雰囲気や土木・建設・設備技術者や技能者など学生が今後、建設分野に進んだ場合のキャリアパスを分かりやすく示したほか、建設業に従事する先輩の「心温まる物語」を紹介。降旗氏は「きつこく、厳しい面もあるが、それ以上にやりがいと喜びの



情報化施工の実習

などを背景に建設生産の合理化が求められている現状を説明。それに対応する一つの答えが情報化施工で、さまざま現場で導入されているとした。午後に行われた実習では、バックホウのガイダンスシステム（GS）やトータルステーション（TS）出来形管理など情報通信技術（ICT）を導入した建設機械などを最新の技術を実際に体験。担当者の説明に学生たちは熱心に聞き入っていた。

【建設ICT】

1. 日 経 2. 朝 日 3. 毎 日
4. 読 売 5. 岐 阜 6. 中 日
7. 産 経 8. 静 岡 9. 伊 勢
10. 中部経済 11. 建 通 12. 日刊工業
13. 建設通信 14. 信濃毎日 15. 日本海事
⑯ 建設工業